

心の輪23R




『美しい母の顔』という資料を通して、
「家族の深い愛」について考えました！



大人と子供で、思いが全然違うなあと思いました。めっちゃ心配されていると、自分だったら「鬱陶しいな…」「分かっているよ！」とか思ってしまおうけど、親は自分のために、自分のことを思ってくれて言ってくれていたりしているから、自分は親から『愛されている』んだなあと思いました。

私はいつも家族と一緒にいて、家族のことを忘れるなんて在り得ないと思っていたけれど、一人暮らしとかをしたら忘れてしまうかと思うと、とても寂しい気持ちになりました。いつも色々な面で助けてもらっているので、恩返しをしていきたいです。

私もM子さんの立場だったら、友達にからかわれるのが嫌なので、つい、お母さんが傷つくような言葉を掛けてしまうと思います。でも、VTRを観て、親は子供をとてにも気に掛けていることが分かりました。

私は親とケンカをしません。でも、怒られる時はあります。それで、面倒臭いなあとは思わず、すごく感謝しています。私の中では、誰よりも親を『好き』ではなく、『愛して』いると思っています。

親は子供のことをとても大切にしているんだなあと思いました。普段、そんなことを何一つ考えずに、冷たい態度をとってしまっています。今後は冷たい態度をとらないようにしたいです。

今日の授業を通して、親は自分が思っているよりも気に掛けて色々なことをしたり、言ったりしているんだなあと思いました。これからは、あまりケンカなどはないようにしたいです。

私は、「お父さんとお母さんに優しくしていますか？」と聞かれると、多分、無言になってしまうと思う。自分が親に愛されている分を、私は返すことができていないと思う。親の大切を知ることができた。いつもありがとう。

家族は、最も身近な共同体である。一緒に生活をし、食事や身の回りの世話をしてくれ、私の心と体を育ててくれた。

私も、少しずつではあるが、家事を手伝ったり、家族の一員としての役割を担ったりするようになり、家庭の仕事の大変さや、家族の有り難さが分かってきた。

一方で、家族に反抗したり、一人になりたいと思ったり、自立したいと思ったりすることも増えてきた。

将来、私も家族を支える立場になる。私を育ててくれた家族に感謝し、自分が築きたい家庭を思い描きながら、人生を歩んでいきたい。

文部科学省資料
『私たちの道徳』P.180より引用

僕は、普段からずっと親に感謝しているか分かりません。気付かないところで、親を傷つけているかもしれません。なので、これからも親を大切にしたいなあと思いました。

母は子供にたくさんの愛を込めているのに、子供と気持ちのズレがあるのは少し悲しいし、母はかわいそうだと思った。でも、愛を込めた分、気持ちを伝えれば、その思いが伝わるのだと思った。

家族を大切にしようと思いました。普段から、なるべく感謝を伝えるように努力しているけど、もう少し、自分の言動や行動を見直して、悪い所は直していこうと思いました。